

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●皐月賞はジャスティンミラノがコースレコードで優勝

4月14日(日)に行われた皐月賞(G I)ではジャスティンミラノ(牡3歳/栗東・友道康夫厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。勝ちタイム1分57秒1は、2015年日刊スポーツ賞中山金杯のラプリーデイと2017年皐月賞のアルアインが記録した1分57秒8を更新するコースレコードおよびレースレコードとなります。

### ●中山グランドジャンプはイロゴトシが連覇

4月13日(土)に行われた中山グランドジャンプ(J・G I)では、昨年の勝ち馬イロゴトシ(牡7歳/栗東・牧田和弥厩舎)が今年も勝利しました。同レース連覇は史上4頭目のこととなります。

### ●小椋研介調教師、千葉直人調教師がJRA初勝利をあげる

4月14日(日)の2回阪神8日・第7レースではベルシャンブルが1着となり、同馬を管理する小椋研介調教師(栗東)は、JRA初勝利をあげました。同日の3回中山8日・第10レースとして行われたJRAウルトラプレミアムドゥラメンテカップではセイウンプラチナが1着となり、同馬を管理する千葉直人調教師(美浦)もJRA初勝利をあげました。

### ●荻野極騎手がJRA通算200勝を達成

4月14日(日)の1回福島4日・第10レースとして行われた奥の細道特別ではフルールが1着となり、同馬に騎乗した荻野極騎手(栗東・フリー)は、現役57人目となるJRA通算200勝(3661戦目)を達成しました。

### ●勝浦正樹騎手が引退

勝浦正樹騎手(美浦・フリー)が4月14日(日)付で引退しました。JRA通算成績は1万5674戦967勝でした。

### ●フラワーパークが死亡

4月6日(土)、フラワーパーク(牝32歳)が死亡しました。同馬は1996年に高松宮杯(G I)とスプリンターズS(G I)を制して同年のJRA賞最優秀父内国産馬および最優秀短距離馬を受賞。JRA通算18戦7勝の成績を残して引退し、繁殖牝馬としては東京新聞杯勝ち馬ヴァンセンヌなどを出しました。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●菊水賞(園田)は無敗のオーシンロクゼロ[各地の主要3歳重賞]

菊水賞(4月3日、園田、1700<sup>円</sup>)は、好位を進んだ5番人気のオーシンロクゼロ(牡、父アジアエクスプレス)がゴール前50<sup>m</sup>以内から差し切り、デビュー以来の連勝を4に伸ばしました。桜花賞(3月27日、浦和、1500<sup>円</sup>、牝馬)は、5番手前後から差を詰めた3番人気のプリンセスアリー(父キズナ)が、残り100<sup>m</sup>を切った辺りで逃げ馬を交わして重賞初制覇。クラウンC(4月2日、川崎、1600<sup>円</sup>)は、4番手を追走した1番人気のシシュフォス(牡、父アポロニック)が直線半ばで抜け出し、北海道から船橋へ移籍後2連勝。ル・プランタン賞(4月7日、佐賀、1800<sup>円</sup>、牝馬)は、3~4番手から向正面で早々と先頭に立った高知所属馬グラインドアウト(父アメリカンベイトリオット)がそのまま押し切り、単勝1.3倍の圧倒的支持に応じて花吹雪賞に続く佐賀遠征での重賞2連勝を達成。東海クイーンC(4月11日、名古屋、1700<sup>円</sup>、牝馬)は、2番手から3、4コーナー中間で前を捉えた3番人気の北海道から愛知への移籍馬ニジロハービー(父ストロングリターン)が1馬身半差で完勝、兵庫クイーンセレクションに次ぐ2度目の重賞勝ちを果たしています。

### ●ブルーサン、アンモシエラらが参戦、4月24日の羽田盃(大井)

3歳ダート三冠の第一関門として、今年から新たにダートグレード競走となった羽田盃(Jpn I、3歳、4月24日、大井、1800<sup>円</sup>)は、雲取賞を逃げ切ったブルーサンが最有力、アンモシエラとアマンテピアンコが続き、以下ハビレ、ティントレット(大井)までが争覇圏内と考えられます。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1クイーンエリザベスS~大逃げしたプライドオブジェニが制す

現地4月13日にオーストラリア・ニューサウスウェールズ州のランドウィック競馬場で行われたG1クイーンエリザベスS(3歳上、芝2000<sup>m</sup>)は、D.ベイツ騎手を背に後続を大きく引き離して逃げたプライドオブジェニ(牝6歳、父プライドオブドバイ、C.マー厩舎)が3月のG1ランヴェットSを制して臨んだヴィアシスティーナに6.54馬身差をつけて優勝しました。勝ったプライドオブジェニはこれが昨年11月のG1エンパイアローズS(芝1600<sup>m</sup>)とG1豪チャンピオンズマイル(芝1600<sup>m</sup>)に続く3つ目のG1勝ち。ほかに2走前には総賞金375万豪ドルの高額賞金レースであるオールスターマイル(芝1600<sup>m</sup>)も制しており、前走のG1オーストラリアンCは逃げて2着でした。

### ●グランドナショナル~アイアムマキシマスが優勝

イギリスを代表する障害レースのひとつであるグランドナショナル(7歳上、芝6870<sup>m</sup>、障害数30)が4月13日にエイントリー競馬場で行われ、アイルランドのアイアムマキシマス(騾8歳、父オーソライズド)が7馬身半差で優勝しました。P.タウンンド騎手はこのレース初制覇、管理するW.マリズ調教師は2005年のヘッジハンター以来の2勝目です。